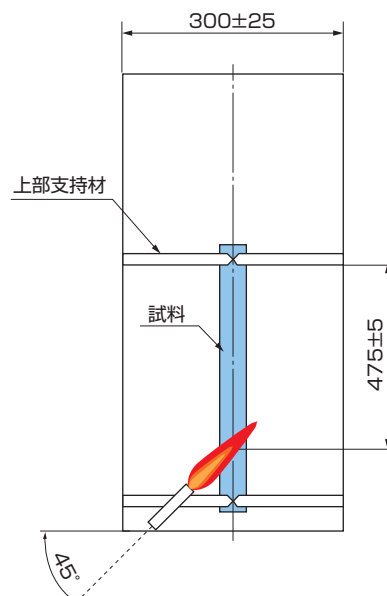


一条垂直試験

- (1) 適用規格：IEC 60332-1 (JIS C 3665-1)
- (2) 試験概要：ケーブルを垂直に保持し、45度の角度でバーナの炎をあて、規定の燃焼時間後、バーナを取り除き炎を消し、試料の燃焼の程度を調べる。燃焼はケーブルの外径に応じ下表に示す時間連続して行う。

ケーブルの外径 (mm)	燃焼時間 (秒)
$D \leq 25$	60
$25 < D \leq 50$	120
$50 < D \leq 75$	240
$D > 75$	480

- (3) 判定基準：上部支持材の下端と炭化の開始点の距離が50mm以上ならば合格。
更に、燃焼が上部支持材の下端から540mmより下方に広がったときは不合格。



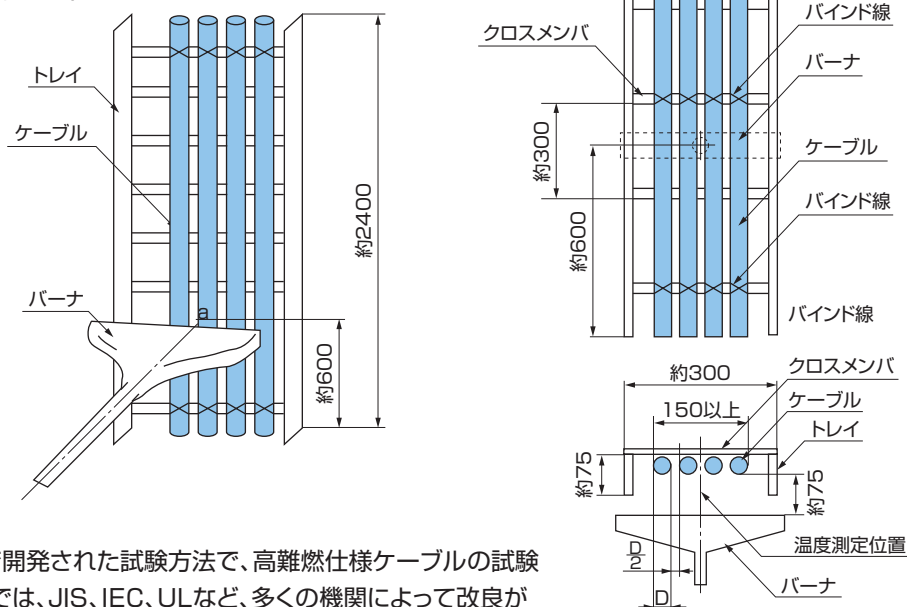
(4) 試験装置概要 (単位mm)

国際規格IECで規定された試験で、標準的な難燃ケーブルに適用されます。

垂直トレイ燃焼試験

- (1) 適用規格：IEEE 383
JIS C 3521
IEC 60332-3
UL1581
- (2) 試験概要：ケーブル外径の1/2の間隔で敷設幅が150mmとなる本数分を、はしご状の垂直に設置されたトレイに敷設し、トレイの下方から規定のリボンバーナにより、ケーブルを20分間燃焼させる。
- (3) 判定基準：ケーブル上端まで延焼しないこと。

- (4) 試験装置概要 (単位mm)



米国電気学会(IEEE)で開発された試験方法で、高難燃仕様ケーブルの試験に適用されます。現在では、JIS、IEC、ULなど、多くの機関によって改良が加えられ、規格化されていますが、火源としてのバーナの形状や火源の熱量は、各規格ともほぼ同様のものとなっています。